様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 専門学校　カレッジオブキャリア |
| 設置者名 | 学校法人　黒木学園 |

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|---|---|---|---|---|---|
| 商業実務専門課程 | ブライダル・ホテル科 | 夜・通信 | 47 単位 | 7 単位 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| 工業専門課程 | デジタルクリエーション科 | 夜・通信 | 47 単位 | 7 単位 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| （備考） | | | | | |

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/c-career.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

| 学科名 |
|---|
| （困難である理由） |

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 専門学校　カレッジオブキャリア |
| 設置者名 | 学校法人　黒木学園 |

１．理事（役員）名簿の公表方法

| |
|---|
| https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/riji.pdf |

２．学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|---|---|---|---|
| 非常勤 | (前職)専門学校教員 | 令和 7 年 6 月 10 日～令和 11 年 6 月 9 日 | ガバナンス<br>コンプライアンス |
| | | | |
| （備考） | | | |

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|---|---|
| 学校名 | 専門学校　カレッジオブキャリア |
| 設置者名 | 学校法人　黒木学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| |
|---|
| １．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 |
| （授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）<br>毎年２月に職員会議で現行授業科目を見直し、新年度の授業を決定する。<br>・教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会からの提言を参考にする。<br>・業界の状況を踏まえ、各授業の効果や有効性を鑑み、新年度の授業科目を検討。<br>・外部講師の授業も同様に検討し、継続の講師には契約書を作成し依頼。<br>・新年度の授業科目及び担当教員が確定したら使用教室、教員の担当時間帯、外部講師の要望も踏まえ時間割を作成し、全てのシラバスを見直し、３月末までに新年度のシラバスを作成する。<br>・変更点は理事会の承認の上、県に学則変更（教育課程の変更）の届出を行う。<br>・新年度開始前（４月上旬）に Web にてシラバスを公開する。 |

| | |
|---|---|
| 授業計画書の公表方法 | （ブライダル・ホテル科）<br>https://www.kuroki.ac.jp/ncc/course/bridal/syllabus.php<br>（デジタルクリエーション科）<br>https://www.kuroki.ac.jp/ncc/course/digitalcreation/syllabus.php |

| |
|---|
| ２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 |
| （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）<br>「期末試験の評価に関する基準」により授業への出席及び期末試験の合格で単位を取得し、履修を確定する。<br>科目担当教員は、あらかじめ担当科目ごとに試験及び追試の方法、評価方法（試験の成績、実習での達成度、授業科目関連の資格・検定取得状況、授業態度、取り組み姿勢等）を「試験計画書」に明記しておく。<br>期末試験は、期末試験点の６０点以上で合格とし、その後「試験計画書」に従い評価点を算出する。<br>不合格者が受験者数の３０％以上になった場合は業務報告を行う。<br>不合格となった学生は補講受講後に追試験を受ける。追試が不合格になった場合には保護者の署名捺印のある「特別追試願」を提出し特別追試を受験。これ以降の不合格については教務で検討する。<br>科目ごとに出欠を管理し、出席率が９０％未満の科目の試験は受験できない。<br>その際は試験受験前に補講を済ませておく。<br>各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により厳格かつ適正に単位授与または履修認定を実施している。 |

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
期末試験の各科目の評価点の合計により学科内の学年全体の順位を決めて各学生の修業状況を把握している。(評価点は学期末試験毎に各科目担当が作成する「試験計画書」に「評価方法」が具体的に明記されこれにより算出される　※期末試験点以外の評価がある場合は合計を 100 点として案分する)

各科目の成績評価はA・B・C・Dの４段階評定（Dは単位不認定で進級・卒業不可）「試験計画書」の「評価方法」により算出された点数を次の割合で４段階の相対評価を行う。
原則A判定が全体の上位２５％、B判定が次の４５％、C判定が下位の３０％とする。
なお、各科目の期末試験の取得点数と４段階の成績評価及び各科目の試験の平均点を家庭に通知し、不明な点があれば説明するようにしている。
あらかじめ設定した指標により成績評価を適切に実施している。

| | |
|---|---|
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/c-sihyo.pdf |

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
卒業認定の方針は、学則第１条の目的により学校教育法に基づき、専門的知識及び技術を教授することにより、広く社会人としての教養と応用力を身に付け、実務に優れ、社会性国際感覚に富み、科学的に思考し得る有能な人材になるために必要な本校の教育課程を全て履修し、目的に沿った成長が認められる者について卒業を認定する。
卒業の認定は、学則の教育課程に掲載している全科目の単位を取得していること、学費が全額納入されていること、本校の学生としての本分を全うしたと認められる者に対して、職員会議で決定される。各科目の単位取得は、期末試験の合格が必要であり、授業科目ごとの出席率が９０％以上でないと試験は受けられないため、授業への出席も義務付けられている。(出席率９０％未満の科目は補講が必要) また、成績評価がDの場合は進級・卒業が出来ない。卒業年度の２月に行われる各学科の卒業認定会議において、学費の納入状況、単位の取得状況、その他特別な問題が無いかを検討し、卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ卒業を認定している。

| | |
|---|---|
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/c-ninti.pdf |

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 専門学校　カレッジオブキャリア |
| 設置者名 | 学校法人　黒木学園 |

１．財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|---|---|
| 貸借対照表 | https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/01bs.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/01pl.pdf |
| 財産目録 | https://www/kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/01mokuroku.pdf |
| 事業報告書 | https://www/kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/01jigyohokoku.pdf |
| 監事による監査報告（書） | https://www/kuroki.ac.jp/ncc/about/sinsei/01kansahokoku.pdf |

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | ブライダル・ホテル科 | ○ | |

| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 92単位 | 47単位 | 20単位 | 25単位 | | |

| 学生総定員数 | 学生実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 40人 | 41人 | 0人 | 2人 | 15人 | 17人 |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| （概要）教育課程（科目と時間）は学則添付教育課程に参照。<br>講義は教員と学生の対面講義形式、実習は教員が個々の実習をサポートする形式。<br>年間の授業計画は 2 月に教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等の提言を反映し見直しを図り、3 月の理事会の承認を得て学則変更届を提出。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）試験の成績、実習での達成度、授業科目関連の資格・検定取得状況、出席率、授業態度、取り組み姿勢を評価し、科目ごとに一定の割合により４段階の相対的な評価を行う。（ＡＢＣ評定までが単位取得、Ｄ評定は単位未取得） |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要））2 月に行う学科ごとの卒業及び進級認定会議において、学費の納入状況、単位の取得状況、その他特別な問題がないかを検討し卒業・進級を認定している。 |
| 学修支援等 |
| （概要）クラス担任、個別相談・放課後や休日における個別指導等の対応。<br>ホテル・ブライダル施設におけるアルバイト支援。<br>学生個人面談による個別対応や保護者への電話連絡、面談、家庭訪問等の個別対応。 |

| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---|---|---|
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数<br>（自営業を含む。） | その他 |
| 20 人<br>（100%） | 0 人<br>（　0%） | 19 人<br>（　95%） | 1 人<br>（　5%） |
| （主な就職、業界等）ホテル／ブライダル施設／ブライダル関連企業／ブライダルコーディネーター／ウェディングプランナー／ドレスコーディネーター／ジュエリーショップ | | | |
| （就職指導内容）企業研究サポート／就職個別面接／履歴書・電話対応指導／校内企業ガイダンス／就職試験対策（筆記・面接・作文）／卒業後のサポート | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等））ブライダルコーディネート技能検定／ホテルビジネス実務検定／ネイル検定／色彩検定／ビジネス検定／簿記検定／ワード・エクセル検定 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|---|---|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 43 人 | 0 人 | 0% |
| （中途退学の主な理由） | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）<br>学生に対する個別カウンセリング、家庭連絡、保護者面談 | | |

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|
| 工業 | 工業専門課程 | デジタルクリエーション科 | ○ | |

| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 112単位 | 40単位 | 66単位 | 6単位 | | |

| 学生総定員数 | 学生実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 40人 | 12人 | 0人 | 2人 | 8人 | 10人 |

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）教育課程（科目と時間）は学則添付教育課程に参照。
講義は教員と学生の対面講義形式、実習は教員が個々の実習をサポートする形式。
年間の授業計画は 2 月に教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等の提言を反映し見直しを図り、3月の理事会の承認を得て学則変更届を提出。

成績評価の基準・方法

（概要）試験の成績、実習での達成度、授業科目関連の資格・検定取得状況、出席率、授業態度、取り組み姿勢を評価し、科目ごとに一定の割合により４段階の相対的な評価を行う。（ＡＢＣ評定までが単位取得、Ｄ評定は単位未取得）

卒業・進級の認定基準

（概要））2月に行う学科ごとの卒業及び進級認定会議において、学費の納入状況、単位の取得状況、その他特別な問題がないかを検討し卒業・進級を認定している。

学修支援等

（概要）クラス担任、個別相談・放課後や休日における個別指導等の対応。
ホテル・ブライダル施設におけるアルバイト支援。
学生個人面談による個別対応や保護者への電話連絡、面談、家庭訪問等の個別対応。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数（自営業を含む。） | その他 |
|---|---|---|---|
| 12人<br>（　100%） | 0人<br>（　0%） | 12人<br>（　100%） | 0人<br>（　0%） |

（主な就職、業界等）システム開発／システム保守・運用／システムエンジニア／プログラマー／製造業

（就職指導内容）企業研究サポート／就職個別面接／履歴書・電話対応指導／校内企業ガイダンス／就職試験対策（筆記・面接・作文）／卒業後のサポート

（主な学修成果（資格・検定等））ＩＴパスポート／基本情報技術者試験／情報検定WEBクリエイター試験／ビジネス検定／ワード・エクセル検定

（備考）（任意記載事項）

| 中途退学の現状 | | |
|---|---|---|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 21 人 | 1 人 | 4.5% |
| （中途退学の主な理由）<br>疾病により登校ができなくなったため | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）<br>学生に対する個別カウンセリング、家庭連絡、保護者面談 | | |

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料<br>(年間) | その他 | 備考（任意記載事項） |
|---|---|---|---|---|
| ブライダル・ホテル科 | 160,000 円 | 500,000 円 | 300,000 円 | その他は施設設備費・実習費 |
| デジタルクリエーション科 | 160,000 円 | 500,000 円 | 300,000 円 | その他は施設設備費・実習費 |
| 修学支援（任意記載事項） | | | | |
| 特別奨学生制度、ファミリー就学奨励金制度、遠隔地入学者助成金制度 | | | | |

ｂ）学校評価

| 自己点検評価結果の公表方法 | | |
|---|---|---|
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）<br>https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/johokokai/bridal/jikohyoka.pdf | | |
| 第三者評価の基本方針（実施方法・体制） | | |
| 第三者評価に関しては規定年内(令和 12 年度)に実施を予定している。<br>当面は学校関係者評価委員会を以下の方針で実施し公表する。<br>本校の学校関係者評価委員会は、企業、業界団体、卒業生より構成されており、年度末に年一回開催される。文部科学省より出されている「専門学校における学校評価ガイドライン」に掲載される項目を中心に学校評価を行う。委員の意見を基に次年度以降の教育計画、教育課程の編成、教育活動、募集活動等に反映している。<br>以下に学校関係者評価の委員を示す。 | | |
| 第三者評価の委員　※学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 長野市ホテル・旅館組合 | 令和 8 年 4 月 1 日～<br>令和 10 年 3 月 31 日 | 業界団体 |
| シャトレーゼホテル長野 | 令和 7 年 10 月 1 日～<br>令和 9 年 3 月 31 日 | 企業 |
| エヌ・エス・ケイ株式会社 | 令和 7 年 4 月 1 日～<br>令和 9 年 3 月 31 日 | 企業 |
| | | |
| 第三者評価結果の公表方法 | | |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）<br>https://www.kuroki.ac.jp/ncc/about/johokokai/bridal/hyokahokoku.pdf | | |
| （備考） | | |
| | | |

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.kuroki.ac.jp/ncc